

掲 載 記 事

掲載年月日

平成 23 年 12 月 23 日

掲載紙

民報 (2 5 面)

路線バスで 線量測定へ

27日から福島などで

京都大原子炉実験所
(大阪府熊取町)は二
十二日、福島交通と協
力し、福島市内などを
営業走行する路線バス
に放射線量を自動測定
する装置を搭載し、モ
ニタリング調査する実
証試験を行うと発表し
た。二十七日に始める。
住民の生活圏で継続し
て調査するのが狙い。
原子炉実験所などに

よると、装置は工具箱
程度の大きさで、バス
の最後部座席の後ろに
搭載。全球測位シス
テム(GPS)で走行
中のバスの位置を特定
し、インターネットを
通じ、県や国などとリ
アルタイムでデータを
共有する。バスの乗客
が線量を確認すること
はできない。

試験では、福島市や
隣接する伊達市、桑折
町を走る路線バス一台
に載せて調査するとい
う。